

審査委員のご紹介

キヤノン電子株式会社 代表取締役会長 さかまき ひさし 酒巻 久 様



1999年3月に社長就任後、「世界トップレベルの高収益企業になる」を目標に掲げて経営改革に着手し、生産性の向上、財務体質の強化を実現。著書「椅子とパソコンをなくせば会社は伸びる!」は、企業経営の教科書として多くの経営者に読み継がれている。また、最新刊「左遷社長の逆襲」など、著書多数。

でんと 日本電鍍工業株式会社 代表取締役 いとう まみ 伊藤 麻美 様



FMラジオのパーソナリティとして活躍後、アメリカに留学し、宝石の鑑定士・鑑別士の資格を取得。2000年に現在の職に就任。危機的状況だった会社を3年で建て直し、黒字へと導いた。同社は、独創性・革新性に優れ研究開発型企业として、「さいたま市リーディングエッジ企業」の認証を受けており、その業績とリーダーシップから“常に前向きな女性経営者”として多方面で活躍している。

さいたま商工会議所 女性会会長 えはら えつこ 江原 悦子 様



岩槻商工会、岩槻商工会議所女性会会長を歴任。現在さいたま商工会議所女性会会長。人形のまち岩槻まちかど雛めぐり実行委員長等、地域のイベントやお祭りに携わる。岩槻市立福祉会館内にて結婚式場業務に従事。現在はその会社と懐石料理桜茶屋を経営。売上が当時の五分の一になるも、業態を結婚式場から人気の豆腐ラーメン1本に絞り、市民会館の中の食堂 53 年営業中。

埼玉新聞社 編集局 編集管理幹 よしだ しゅんいち 吉田 俊一 様



記者、デスク、編集局長などを経て現職。電子メディアの開発をはじめ、アニメやサブカルチャーに特化した特集紙面「サイタマニア」編集責任者、J:COM番組コメンテーターなど歴任。PTAをはじめ、自治体、NPOなど向け広報研修会講師。新聞を教育に活用する埼玉県NIE推進協議会事務局長。著書「ホームレス暴行死事件～少年たちはなぜ殺してしまったのか」。

さいたま市 市長

清水 勇人

